

フェロー推薦の件

一般社団法人 日本塑性加工学会

フェロー選考経過報告

一般社団法人 日本塑性加工学会
第 52 期 理 事 会

フェローとなる会員は、学会を代表するに相応しい技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍するものと期待されております。

平成 11 年度の理事会においてフェロー制度の導入について審議の結果、平成 12 年 4 月 21 日開催の理事会で導入が決定されました。フェローは、正会員歴 10 年以上を有し塑性加工学・塑性加工技術の分野で特に顕著な成果を挙げられるか、または正会員歴 15 年以上を有し、本会の発展に顕著な貢献をなし、いずれの場合も現在活動中の高い見識と責任感を持った会員の中から選出されます。

これを称号として位置付けることにより、一般会員の中におけるフェロー会員の評価が定着し、フェロー会員各位が学会を言うに及ばず国内外、社会における技術者の代表として活躍されることを期待するものです。

このような趣旨に基づき、人事委員会では、本会の各組織（支部、分科会など）に候補者の推薦を依頼しました。そして、慎重な審査の結果、最終的に下表の 2 名の方をフェロー候補者として第 52 期理事会に上申し、満場一致をもって承認されました。

ここにご報告を申し上げ、皆様とともに日本塑性加工学会フェローの誕生をお喜び申し上げたいと存じます。

平成 29 年度 一般社団法人 日本塑性加工学会 フェロー

| 会員区分 | 氏 名 |
|------|-------|
| 正会員 | 楊 明 |
| 正会員 | 山崎 雄司 |